



顔画像からのパーツ選択によるアバター自動生成

竹内充

背景と目的

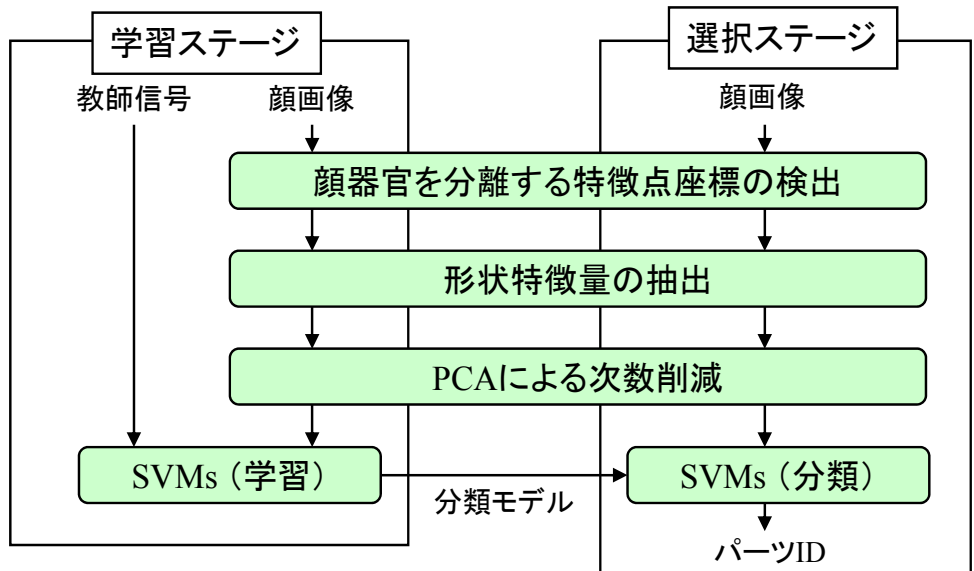
アバターを導入しているサービスでは一般的にユーザーにより選択されたパーツを組み合わせてアバターを作成している。デザインの自由度と作成作業の簡便性との間でトレードオフ問題が存在するため、顔画像を入力としたアバターの自動生成を目指す。



アバター作成画面

提案手法

自動選択した部位ごとのパーツを組み合わせることでアバターを生成する。パーツの選択は、部位ごとの画像とパーツ間の類似関係を事前知識として学習しておく、未知の顔画像に類似するパーツを選択することにより行う。



実験

提案手法により入力画像に類似するアバターが生成できていることが確認できた。

